

九年庵に7万5千人



国の名勝九年庵で秋の一般公開が、11月15日から23日までの9日間行われました。

今年は、紅葉の色づきも良く、好天にも恵まれたため、全国各地から、約7万5千人が訪れ、赤く染まったモミジとコケの緑の美しいコントラストを堪能しました。

また、11月に誕生した神埼市のゆるキャラ「くねんワン」「くねんニヤン」も本部テント前で大活躍。多くの観光客に可愛さで神埼をアピールし、一緒に写真撮影するなど大人気でした。

中部小で合同避難訓練

秋の火災予防週間にちなみ、神埼消防署との合同火災避難訓練が、11月15日、千代田中部小学校で行われました。

訓練は、2階家庭科室からの出火のアナウンスで開始され、子どもたちは、先生の指示に従い校庭へ避難。今回は、6年生10人が負傷者役として待機。煙に巻かれ自立歩行困難など傷病の程度の書かれたボードを首から提げ、救助を待ちました。

通報を受け、消防車、救急車など7台が到着。消防士たちが手早くホースをつなぎ放水訓練に入ると同時に負傷者を救出。救出された児童は救急隊



員から、応急手当と大規模災害現場で使用される傷病の程度で搬送の順位付けをする「トリアージ」を受け、住所、氏名や健康状態などが書かれたタグを右手首につけられ、優先順位の高い児童から救急車に乗せて搬送するまでの訓練を行いました。

本物の歌舞伎に感動

子どものための優れた舞台芸術体験事業歌舞伎が、11月16日には、西郷小学校で、17日には、千代田西部小学校で行われました。

この事業は、文化庁が主催し、ミュージカルやオーケストラなど優れた舞台芸術の巡回公演等を鑑賞し、芸術を愛する心を育てることを目的とし、今年で5回目。歌舞伎は、全国13会場で行われ、県内では、西郷小学校と千代田西部小学校の2校が選ばれ、九州初で行われました。

16日に行われた西郷小学校では、歌舞伎俳優の中村吉右衛門さんが登場し、第一部「歌舞伎の世界で遊ぼう」と題して歌舞伎の世界を「つけ」と呼ばれる効果音の話や「とんぼ」と呼ばれる歌舞伎の動作など例を挙げながらわかりやすく解説されました。また、希望者を募り、見得の切り方指導も開かれました。解説の合間には、子どもたちが、歌舞伎の公演を行っている松竹と中村吉三郎さん、吉之助さん、吉五郎さんなどから、小道具の作り方や演技指導を受けていた8月のワークショップの発表会も行われました。6年生が作った菜の花の小道具に3



年生が蝶々を動かし、4・5年生による歌舞伎「熊谷陣屋」の1シーン。遠見の浜で熊谷次郎直実と平敦盛を熱演しました。休憩時には、「くまどり」の実演もあり、児童らは歌舞伎独特の化粧方法を興味深そうにのぞき込んでいました。

第2部は、「実際に舞台を見てみよう」と題して、長唄と囃子の演奏、立ち回りや舞踊を披露。最後に行われた鶯娘では、1・2年生が、ワークショップで作った雪に見立てた紙吹雪を黒衣と一緒に降らせました。その中で行われた引き抜きと呼ばれる早着替えに会場からは拍手が起り、減多に見ることのできない本物の歌舞伎に感動していました。

クリスマスコンサート

陸上自衛隊目達原駐屯地「クリスマスコンサート in かんざき」が12月5日、神埼市中央公民館で開かれました。

このコンサートは、自衛隊の活動を身近に感じてもらうとうと、今年初めて行われ、目達原駐屯地音楽隊などが、クリスマスソングなどを演奏しました。

コンサートには、神埼中学校吹奏楽部も出演し、また、目達原駐屯地音楽隊との合同演奏もあり、訪れた多くの人を魅了し、会場は大きな拍手に包まれていました。



演奏の合間には、抽選会も行われ、最後には、会場一体となり「きよしこの夜」を歌い、一足早いクリスマス気分を味わっていました。

アジア大会での活躍を報告

12月6日、トヨタ紡織九州のハンドボールチーム「レッドトルネード」の一員で、アジア大会に日本代表として出場した村上秀行選手と海道衛秀選手が、山河和教社長とともに市長を表敬訪問しました。



▲写真左から 海道選手、村上選手

育振小バレーで県NO.1

11月20日、21日、県内約80チームが参加し、鳥栖市で行われた久光製薬旗佐賀県小学生バレーボール大会で、育振ジュニアバレーボールチーム女子が、悲願の初優勝に輝きました。

他の大会と重なったために全国大会には出場できませんでしたが、6年生にとっては、最後の県大会での優勝は忘れられることができない思い出となりました。



2人は、11月13日から26日までの14日間、中国の広州で開かれた第16回アジア競技大会ハンドボール競技の日本代表として試合に出場。攻守にわたる活躍をみせ、3位入賞し、銅メダルを獲得しました。日本チームがメダルを獲得したのは12年ぶりです。

松本市長は、2人を激励し、村上選手は「アジア選手権だけでなく、残りのリーグ戦も良い成績を残します」、海道選手は「3月のプレオフ目指し頑張ります」とそれぞれ抱負を語りました。

2人は、1月13日からスウェーデンで開かれる世界選手権にも代表選手として出場します。

ニバスケット初の全国大会へ

11月27日、28日、佐賀市の市村記念体育館などで行われたひらまつ病院杯第42回佐賀県ミニバスケットボール交歓大会で、千代田男子ミニバスケットボールクラブと神埼女子ミニバスケットボールクラブがそれぞれ悲願の



日頃の練習の成果を披露

11月14日、第4回神埼市子ども音楽の集いが、千代田文化会館「はんぎーホール」で行われ、市内の幼稚園、保育園、小・中・高等学校から21団体、約630人が出演しました。

息の合った子どもたちの楽器演奏や合唱に、会場に詰めかけた多くの観客からは、大きな拍手が送られていました。

最後は、市の歌「MY DEAR 神埼」を会場一体となり合唱して幕を閉じました。



初優勝に輝き、12月2日に市長へ優勝報告に訪れました。

この大会は、小学生バスケットの最高峰の大会で、1月に熊本県で開催される九州大会と、3月に埼玉県で開催される全国大会に佐賀県代表として出場します。九州大会、全国大会での活躍を期待します。



吉田絃二郎生誕125年祭

郷土が生んだ文学者、神埼町莞牟田出身の吉田絃二郎の生誕125年を記念した式典が、11月23日、神埼市中央公民館で行われました。

式典では読書感想文最優秀者代表4人による朗読や、仁比山小4年生のオペレッタ『ふとつた王様』の上演、佐賀工業高等学校の生徒による吉田絃二郎作詞の校歌斉唱や、絃二郎の作品「母亡き小鳥」に曲をつけた歌などが披露されました。



今回は、125年の節目の年であることから、絃二郎研究の第一人者である九州龍谷短期大学の原岡秀人名誉教授による「吉田絃二郎とふるさと」と題した記念講演も行われました。

22チームが熱戦〜神崎市卓球大会〜

11月21日、神埼中央公園体育館で市民卓球大会（神崎市体育協会主催）が行われ、市内から17地区（22チーム）が参加しました。参加者は、早くから会場入りして練習に打ち込むなど準備に余念がなく、大会でも力強いスマッシュや白熱したラリーが随所で見られました。どのパートでも熱戦が繰り広げられ、日頃の練習の成果を発揮されていました。

上位結果は次のとおりです。（写真…前列優勝チーム、後列準優勝チーム）

○Aパート

優勝 本堀A（神埼町）
準優勝 一丁目A（神埼町）



○Cパート

優勝 一丁目B（神埼町）
準優勝 広滝下（脊振町）



○Bパート

優勝 平ヶ里（神埼町）
準優勝 二丁目（神埼町）



○Dパート

優勝 四丁目B（神埼町）
準優勝 永歌（神埼町）



狙え！ホールインワン〜神埼ラウンドゴルフ大会〜

11月28日、神崎市ラウンドゴルフ大会（神崎市体育協会主催）が日の隈公園グラウンドで行われ、市内から54地区、約300人の参加者が元気に体を動かし、大会を楽しんでいました。

当日は、時折冷たい風が吹く肌寒い一日となりましたが、参加者は慎重なショットでポストを狙うなど、競技は白熱し、見事ホールインワンを決めた所からは、大きな歓声が上がっていました。各パートの優勝チームは、次のとおりです。

○Aパート 出来町（神埼町）



○Cパート 鶴西（神埼町）



○Bパート 平ヶ里（神埼町）



○Dパート 駅通り（神埼町）



お楽しみイベント開催（みて ふれて たべて ……）

吉野ヶ里 夢ロマン軽トラ市

（1月9日 日曜日開催）

会場：JR 吉野ヶ里公園駅北口の町道及び吉野ヶ里歴史公園内

お問い合わせ：吉野ヶ里町商工会（TEL0952-52-4644）

有料広告

有料広告

神埼市パドミントン大会

11月14日、第4回神埼市パドミントン大会（神埼市体育協会主催）が、千代田町の次郎体育館で行われました。

力強いスマッシュや白熱したラリーが随所で見られ、参加者は心地よい汗を流しながら、試合を楽しまれました。各部門の優勝者は、次のとおりです。（敬称略）



▲経験者男子ペアの部
島崎義久(西九州大学)
若松壮丞(西九州大学)



▲初心者男子ペアの部
梅崎哲夫(脊振町)
島村敏和(脊振町)



▲女子ペアの部
西村智奈都(千代田町)
古賀望未(西九州大学)

ミニテニス教室

神埼市体育協会では、11月9日から11日までの3日間、ミニテニス教室を市内3カ所の体育館で行いました。

今回は、九州大会出場の手を講師として招き、初心者から経験者まで、多くの参加者の皆さんに楽しんでもらいました。子どもも大人も楽しめるテニススポーツとして毎年教室を開催していますので、ぜひ足を運んでみてください。



地元特産シイタケを学ぶ

地元特産品であるシイタケについて理解を深めてもらうとシイタケ栽培の授業が12月1日、脊振小学校で行われました。シイタケ栽培の学習は、4年生でシイタケの原木となるクヌギの木を切る作業を見学し、シイタケができるまでを学びます。そして原木を1、2ヶ月自然乾燥させた後、菌を打ち、山の中で育てます。6年生になって原木を学校へ持ち帰り、収穫するという流れになっています。

この日は、先に4年生23人が原木切りを見学し、シイタケについて学びました。その後、6年生26人が2年前に設置した原

チューリップ球根寄贈

木を全員で山の中から林道までバケツリレー方式で運び出し、シイタケ収穫の喜びを実感していました。

運んだ原木は、約140本。学校の校庭に持ち帰りました。収穫されたシイタケは学校給食などで使用されます。



11月26日、神埼町の百田種苗農材(株)からチューリップの球根500球が神埼市と神埼町内の小学校に寄贈されました。百田さんは、ドリームパークなどで子どもたちに植物の構造や育て方を指導する活動を通じて、植物を育てる喜びを感じてもらおうと今年初めて行われました。

松本市長は「市役所の玄関口にも植え、訪れる人を楽しませたい」とお礼を述べました。ありがとうございました。

有料広告

有料広告

任意整理・過払金返還請求!

消費者金融等と約10年以上の取引がある方
消費者金融等の借金を完済した方は



西九州総合法律事務所
佐賀県弁護士会所属
弁護士 福田 大志

相談無料

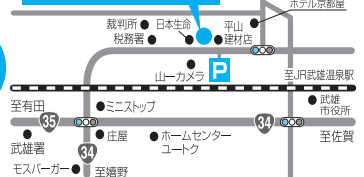
秘密厳守

完済した方は自己負担金ゼロ!

取り戻した過払金の中から成功報酬をいただくのみです。詳しくはお電話、またはブログをご覧ください。

<http://fukuda-hiroshi.seesaa.net/>

西九州総合法律事務所



要電話予約

☎0954-27-8056

受付/(月~金)9:00~12:00 13:00~18:00
佐賀県武雄市武雄町大字武雄5650-26